

市民活動支援指針改訂検討委員会報告書 骨子案

項目・記載する内容	委員会での審議	頁数 目安
はじめに ・検討委員会の目的・スケジュール、検討経過など ・本報告書の主な内容等		1
第1章 市民活動をめぐる現状の確認 現在の川崎市における市民活動をめぐる状況を確認し、地域における中間支援の実態や活動手法の多様化とそれに伴う市の活動に対する支援策等について確認した。		10
(1) 市内NPO法人の増加や新しい制度（税制改正等）について ・NPO法人数、認定・仮認定法人数、条例指定法人数の増加など ・寄付文化の醸成を目的とした法制度改正について	第1回	1
(2) 活動手法の多様化 ・ソーシャルビジネス、CSRなど ・市内のさまざまなコミュニティの活動の実態	第1回 第5回	0.5
(3) 市民が市民を支える仕組みの拡大 ・市民ファンドや市民協働の取組	第1回	0.5
(4) 本市の施策体系上の課題 ・自治推進委員会報告 ・包括外部監査報告	第4回	1.5
(5) 本市の市民活動支援施策 ・市民活動支援指針の策定と意義 ・市民活動支援指針に基づく施策の運用 ・ソーシャルビジネス等を含めた本市の支援施策概要	第1回 小委員会① 第5回	2.5
(6) 委員会で確認した中間支援組織の機能・活動 ・かわさき市民活動センター（全市） ・やまゆり（麻生区） ・ぐらす・かわさき、わになろう会 など	第2回 第5回 第4回	3
その他の審議事項（公共性・公益性の議論、市民活動の定義など）	第2回	1
第2章 今後の方向性に向けた調査審議（第6回 委員意見追加シート取りまとめ） 地域で課題解決のために活動する幅広い主体がよりよい取組を進めていくにあたり、取り組む上でどのようなことが課題となっているのか、論点に沿って洗い出しを行い、今後求められる施策の方向性について意見交換を行った。		16
(1) 活動主体や活動形態の多様化への対応 ・ソーシャルビジネスや企業のCSRの取組に対する認識、市の現状の施策状況 ・町内会・自治会発の取組や、大学の地域連携の取組など ・公的サービスを担う市民活動団体の役割の再確認		2

<p>(2) 中間支援組織に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援拠点機能について <ul style="list-style-type: none"> ワンストップ支援拠点やより小さな範囲での中間支援拠点の必要性 市民活動センターの機能強化、区拠点の中間支援機能の強化 ・人員や予算面などによる中間支援機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> 中間支援組織間の連携強化や役割の分担 中間支援機能強化への支援 ・資金支援 <ul style="list-style-type: none"> 市民ファンドや企業の寄付受け入れの仕組みづくり ・コーディネーターやマッチングの強化 <ul style="list-style-type: none"> プロボノやKSアカデミー修了生などの活用・マッチング ・活動主体の活動拠点の確保に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> 空き家・空き店舗や空き教室、大学や民間スペースなどの活用・情報提供 シェアオフィス、レンタルオフィスなどの整備 ・情報発信 <ul style="list-style-type: none"> 市民記者やプロボノ等を活用した情報発信支援 	5
<p>(3) 活動の段階的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立を目指す団体や事業性の高い団体への専門人材ネットワークの構築 ・活動のスタートアップや自立化など段階に応じた支援の充実 	1
<p>(4) 市民間連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報交流や出会いの機会創出 <ul style="list-style-type: none"> 様々な活動主体が交流できる区レベルでの場づくり SNSの活用 プロボノやKSアカデミー修了生などの活用 市民活動団体と地域で活動を行う町内会・自治会等との連携の強化 	1
<p>(5) 人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家の確保や適正な人件費の課題 <ul style="list-style-type: none"> プロボノや専門家を活用した相談体制 マイスターの育成や派遣 ・新たな人材の確保 <ul style="list-style-type: none"> プロボノやKSアカデミー修了生などの活用・人材ネットワーク化 講座修了者への活動へのインセンティブ 活動インターンシップの仕組みづくり ・コーディネーターの育成 <ul style="list-style-type: none"> 異なるタイプの地域活動に携わる人材と一緒に受講し、互いを知る講座の実施 地域における市民プロデューサー・マイスターの育成・認定 	3

<p>(6) 資金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成金制度のあり方について <ul style="list-style-type: none"> 助成金申請までを導く講座の実施など、申請に係る中間支援の充実 助成金制度の目的の明確化や様々なニーズに対応できる助成金制度の見直し・整備 ・事業受託や指定管理に関わる課題 <ul style="list-style-type: none"> 十分な募集時間の確保や行政との対等性の再認識 ・寄付や民間資金の活用等 <ul style="list-style-type: none"> クラウドファンディングの活用 市民活動を支える市民ファンドの設立と、企業によるファンドの取組 ・活動の発展段階に沿った資金支援 <ul style="list-style-type: none"> 市民活動の多様な発展経路についての認識 資金獲得に必要な事業計画作成に対する支援 段階に応じた資源をコントロールするマネジメント・連携力の必要性 	3
<p>(7) 行政の役割及び体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政職員の異動に影響されない相談体制の確立 ・活動に関わる幅広いステークホルダーの意見を集約する仕組みづくり 	1
<p>第3章 今後の方向性への提言</p> <p>第2章の意見交換に基づき、委員会として今後の方向性を整理した。(第6回委員会で大枠確認)</p>	8
<p>(1) 市民活動支援指針の果たした役割と今後の市民活動支援のあり方について考慮すべき視点について</p>	3
<p>(2) 多様な主体による連携・協働に向けた新たな考え方の整理について</p>	3
<p>(3) その他</p>	2
<p>資料編</p>	15
<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動支援指針 ・包括外部監査報告の概要 ・自治推進委員会報告書の概要 ・意見交換の際に出された好事例の紹介 等 	